



キャリア&スタジアム(キャリアスタ)

『地方の若者人口減少』『企業の人材不足』を県内外の各種学校とクラブスポンサー企業の社員がレクリエーションや試合観戦による交流を通じて就職活動の前哨戦となる場を提供。課題を解決するキーワードとして「出会い」「コミュニケーション」「和やかな雰囲気」をテーマにイベントを実施しました。

活動場所 : 山梨県小瀬スポーツ公園

取組テーマ : 持続可能な地域づくり

協働者 : 企業／学校／行政

協働者名 : 後援：山梨県、山梨県スポーツ協会
協力：明治大学澤井ゼミナール、山梨県大学就職指導研究会

活動で工夫した点

まず山梨県に後援に入ってもらうことで、県規模の課題に取り組んでいるという位置付けにすること。そして、クラブの強みでもある約300社のクラブスポンサーのネットワーク、県内の大学就職課のネットワークを活用。企画当初から学生が関わっているため、学生の意見を尊重し学生目線で実施メニューを考えることが出来た。

活動で大変だった(苦労した)ポイント

学生の参加者集め。これまでに無いカタチの就職活動的なイベントだけに認知度が低く苦慮した。最終的には、人と人との繋がりで参加者は集まったが、もっと行政や教育機関と連動し企画意図、内容、熱量を伝えられれば改善できる。

クラブや地域の活動後の変化

教育機関や行政などから「ヴァンフォーレをこんな風に使うことが出来るんだ」という言葉が増えた。スポーツを活用し社会課題の解決が出来るというイメージがついてきたと感じました。



協働者の声

- ・学生をはじめ「スーツですか？」だった。普段着で参加できることで、学生も話しやすいのでは(大学教員)
- ・東京に住んでマリノスを応援している。でもクラブを支えているスポンサーについて知る機会は少ない。今日みたいに、企業の方と直接お話しして知ることができるのは貴重(澤井ゼミ学生)
- ・スポーツ公園の施設を利用して、スポーツを間接的に活用した新しい取り組みで施設活用の違った可能性が見えた(山梨県スポーツ協会)

参加者の声

若いうちから、地元の企業を知るという機会を設けていただけるとは大変良い取り組み。なかなか学生さんに知ってもらう機会が少ない弊社にとっては地元学生達と楽しくレクリエーションしながら話せたのは大変有意義な時間でした。

活動の「ここぞ!」というPRポイント

山梨県を元気に!それぞれの立場で抱えている課題を共有し、それぞれのリソースとアイデアを掛け合わせて実現したイベント。これを一過性のものにせず、継続することで「キャリアスタ」がキッカケで就職決定が目標!

補足

-